

兵庫県但東町

# 日本・モンゴル民族博物館年報

第 5 号 (平成13年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No.5 (for the fiscal years of 2001)

年報 第5号 (平成13年度)

正誤表 (訂正対象のページ、行数、訂正部分→訂正後の順に記載)

20 ページ 3行目 し管内に→し館内に

21 ページ 28行目 町政 45周年→町制 45周年

# あいさつ

平成13年度の博物館活動を綴った「博物館年報5」をお届けします。ささやかな報告ではありますが、ご高覧をいただきご批判・ご叱責を賜れば幸いです。当館はモンゴルや郷土の歴史・民俗等に関する資料を保存・展示、または普及教育や国際理解学習の地域拠点としての博物館運営に努めてまいりました。平成8年11月3日に開館し、これまでの5年9ヶ月間で18万4千人の入館者を迎えることができました。

1972年2月にモンゴル国と国交を樹立して以来、今年には30周年を迎えました。当館もこれまで多くのモンゴルの方たちをお迎えし、地方における国際交流のあり方や国際理解学習の推進に努めてきました。また、地域においては文化活動の拠点作りを目指してきました。当館は設立されてから5年を経たばかりの若い施設です。若いということは経験不足ということもありますが、柔軟な発想で対応できるというメリットもあります。近年、博物館をとりまく社会環境は依然として厳しい状態が続いており、解決すべき問題が少なくありません。長引く不況の中、地方文化の活性化に努めてきた全国の公立博物館ですが、博物館を取り巻く環境が新たな時代を迎えていることは関係者らの共通した認識です。

平成14年4月から学習指導要領の改定に伴い、学校完全週5日制の導入、総合的な学習の時間等、学校教育が大きく変わろうとしています。一方、より学びやすい博物館づくりが各地で進められています。当館でも子どもたちが博物館を身近な存在としての出前授業を展開してきました。展示資料を見て触れられ、博物館職員への質問も直接できるとあって、京都府や兵庫県内を中心に好評を博してきました。博物館の学校利用をより効果的に促進していく上で、子どもたちだけでなく直接対応いただいた教員の理解も博物館の有効利用に役立っていると考えています。今後も博物館を活用した授業や、地域社会でさまざまな体験活動の機会を意図的、かつ計画的に提供する必要があると考えています。

平成13年度の主な成果を取り上げてみますと、企画展2回、出前授業19回、中学校統合予定地の発掘調査、文化財報告書「但東の農村歌舞伎舞台」の発刊等、種々の事業を展開してきました。ここに、平成13年度における主要な活動事業の概要をとりまとめました。この年報を通して、当博物館の運営についてより一層のご理解をいただければ幸いです。

平成14年12月1日

日本・モンゴル民族博物館

館長 金津 匡伸

# 目 次

I. 平成 13 年度概要	4
II. 展覧事業	5
1. 常設展	
2. 企画展	
III. 調査研究事業	7
1. 三原石田遺跡発掘調査	
2. 農村歌舞伎舞台報告書の発刊	
3. 但東町の仏像調査	
4. 文化財調査委員会の開催	
IV. 資料収集保存事業	9
1. 寄 贈	
2. 購 入	
3. 資料の貸出	
4. 資料の燻蒸	
5. 文化財標柱設置	
V. 普及教育事業	12
1. 出前授業	
2. 普及事業	
3. 「トライやるウィーク」の受入	
4. 講師派遣	
5. 出版活動	
6. ホームページの開設	
7. 子ども放送局	
8. 博物館学芸員実習生の受入	

VI. 国際交流事業	16
1. モンゴル国との国際交流	
2. モンゴル自然災害への支援活動	
3. 職員のモンゴル派遣	
VII. 管理運営	17
1. 組織・職員	
2. 予算の概要	
3. 入館者利用状況	
4. 施設管理	
5. 博物館協力会	
6. 博物館日誌抄	
7. 来館者の声	
8. 施設概要	
9. 利用案内	
10. 交通案内	
あとがき	32



# I. 平成13年度概要

当館の事業を大きく分けると、博物館運営・文化財保護・国際交流の三つに大別される。

博物館運営として、常設展や企画展などの展示活動、調査研究活動、資料収集保存活動、普及教育活動がある。常設展はこれまでに部分的に変更しており、開館時と比較すると大きく変化している。

入館者数は平成12年度以降、徐々に増加傾向にある。平成13年度は年間308日開館で一日当たり平均101人であった。

また、平成13年度は開館5周年を迎え、9月23日に開館感謝祭として無料開放を実施した。県内外から多くの方たちにお越しいただき、馬頭琴演奏やモンゴル料理などを楽しんでいただいた。また、篠山市遠方にある「モンゴルの里」のゲル1基を借用し、ミニ博物館を開設した。広報活動の一環であるが、スーチンドロン氏のご好意による場所の提供を受け、定期的なミニ企画展を実施していく予定である。施設間の連携による補完関係を構築することによって、各施設の個性化を明確にすることができればと考えている。

企画展は2回開催し、第14回企画展では「モンゴル帝国と元寇」、モンゴル側から視た元寇を取り上げてみた。第15回企画展では、「国策に散った開拓団の夢」を開催し、

旧高橋村がたどった開拓団の悲劇を伝えた。常設関係ではモンゴル人画家D、ウルタナサン氏から寄贈を受けた絵画を額装して常設展示した。

普及教育・広報関係では伝承文化体験交流館の増築に伴い、49回延べ665人の施設利用があった。出前授業も但馬地方を中心に活動していたが、本年度は阪神間や播磨地方からの希望校が多くあった。博物館学芸員実習では昨年度に引き続き、大学の夏休みを利用した時期に実施した。

文化財調査では、統合中学校予定地の発掘調査、トライやるウィークで金蔵寺層塔の調査を実施した。統合中学校予定地の埋蔵文化財調査は9月から11月初旬までの2ヶ月間実施した。本地区は周知の遺跡ではなかったが、予定地が広範だったこともあり、試掘調査を実施した。調査の結果、ほ場整備された水田下部から、遺物包含層が検出された。遺物は弥生時代から中世までの長期間におよぶ資料が確認され、特に木製品が黒色粘土層から大量に出土している。奈良時代9世紀頃の墨書土器「大家」1点、平安時代後期から鎌倉時代の呪符木簡1点が文字資料として検出されている。現在、資料整理を鋭意進めており、早い時期に報告書をまとめた。



(モンゴルの里にミニ博物館開設)



## Ⅱ. 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟の東アジアの歴史・チベット仏教、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、加えて但東町に古くから伝わる民俗資料により構成されている。

- ◎ たんとうの森……人口樹木を配し、平安時代の朽ち木仏像5体を展示。
- ◎ 東アジアの歴史……恐竜の卵化石から中国元代までの歴史資料を展示。
- ◎ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に衣食住をテーマ別に展示。
- ◎ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現している。
- ◎ 伝承文化体験交流館……昭和30年代の民家を再現、暮らしや生産の道具を展示。

#### (2) 常設展の手直し

モンゴル草原の暮らしと文化のコーナーに第14回企画展「モンゴル帝国と蒙古襲来」の一部を常設展示とした。



(「モンゴル帝国と蒙古襲来」の一部展示)

#### (3) 常設展の追加

モンゴルの画家、D. ウルタナサン氏が昨年度制作し寄贈を受けた大作「モンゴルの四季遊牧」の額装が完成しシルクロードに展示した。



(額装：展示された大作「モンゴルの四季遊牧」)

#### (4) 屋外展示

但東町生活改善センター前に設置してあったモニュメント「環界-IV」を、博物館前芝生広場に移設した。「環界-IV」は、縦2.4m・横3mの円状で空間から空間への門、見えるものと見えないものを円環状が連鎖させる作品と言われている。作品は但東町出身の彫刻家橋本清孝氏。



(移設したモニュメント)

#### (5) 職員による解説

当館の職員は現在5名で来館者の要望に応じて随時解説補助をしている。解説は、数名から10数名程度の団体については各展示室を通して行っているが、20数名以上の団体では通路が狭いこともあり一般的なガイダンスや、各コーナーでの個別的な質問への対応が主体となっている。

## 2. 企画展

平成13年度は次の2回（第14回～15回）の企画展を行った。

### (1) 第14回企画展『モンゴル帝国と蒙古襲来』

平成13年4月20日～12月25日

249日間（見学者数：24,682人）

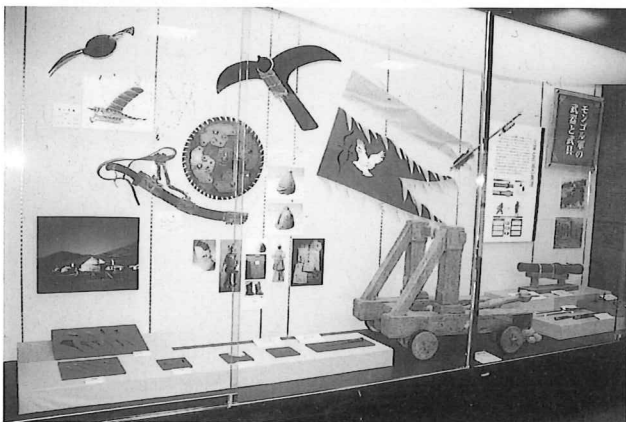
21世紀はアジアの時代だといわれ、近年モンゴルに対する関心も急速に高まっている。モンゴルを幅広く紹介している当館においては、モンゴル側からみた視点も含め、中世の日本とアジアに焦点をあてた。従来の「元寇」とは違う国内外の事象から考える機会ができたと思う。

#### 【展示構成】

- ① 蒙古襲来
- ② モンゴル軍の武器と武具
- ③ 元とはどんな国だったのか
- ④ 遊牧国家モンゴル



(職員による解説風景)



(展示風景)

### (2) 第15回企画展『国策に散った開拓団の夢』

平成14年1月5日～4月16日

101日間（見学者数：7,322人）

昭和19年、満州にはよく肥えた大地が待っているかのように宣伝された国の政策にのり、満州に渡った大兵庫開拓団高橋村は第2次世界大戦の敗戦に直面し、志し半ばにして悲壮な最期を遂げた史実を伝え世界の人々の恒久平和を訴えた。

#### 【展示構成】

- ① 開拓団結成とその時代背景
- ② 開拓団満州での生活
- ③ 終戦による開拓団員の混乱・自決・収容所での生活
- ④ 日中友好慰霊の旅



(展示風景 1)



(展示風景 2)

## Ⅲ. 調査研究事業

調査研究は、博物館における諸活動の根底をなすものである。それは、質の高い調査研究に裏付けられて、最新の情報を盛り込んだ展示、質の高いコレクション、内容豊かな普及行事が可能となるからである。今回は調査研究を主目的としたものではなく、緊急調査の範疇に含まれるものではあるが、博物館事業の一環として紹介する。

### 1. 三原石田遺跡発掘調査

#### (1) 調査に至る経過

統合中学校建設予定地である三原地区を対象に、遺跡の存在を確認するため発掘調査を実施した。

当地区は、標高62mの高さを中心に大部分が水田や畑として利用されており、過去には場整備による現地形の変更が認められる。遺跡の登録はされていないが、8月に表面調査を実施した結果、平安時代の土師器片を採取したことから、予定地内においてなんらかの遺跡の存在が予想された。全予定地内を遺物包含層の確認や土層観察のため試掘溝を設置して調査することとした。

#### (2) 調査要項

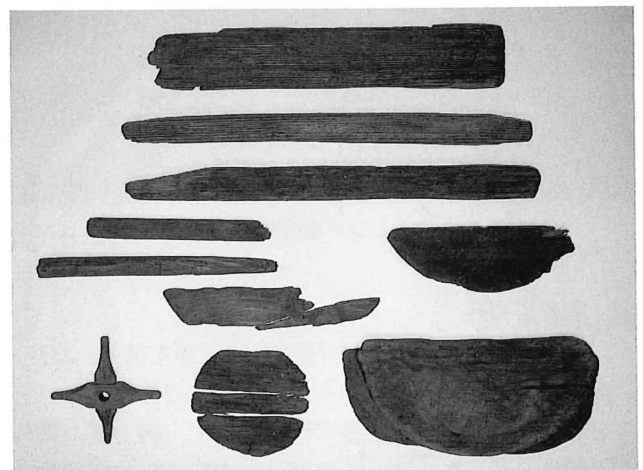
- |         |   |
|---------|---|
| ① 調査目的  | 中学校建設予定地内の遺跡確認                                      |
| ② 調査期間  | 平成13年9月25日～11月26日                                   |
| ③ 調査地   | 但東町三原   |
| ④ 調査主体  | 但東町教育委員会<br>(教育長 川見正明)                              |
| ⑤ 調査員   | 但東町文化財調査委員会<br>会長 宇治田透玄<br>武知憲男・森脇博亮・兼井通夫<br>小田博一   |
| ⑥ 調査事務局 | 日本・モンゴル民族博物館<br>(館長 金津匡伸・主査 大岸勝也)                   |
| ⑦ 調査協力  | 地権者各位・三原区<br>奈良文化財研究所<br>但東町シルバー人材センター<br>(所長 大石清喜) |



(出土した墨書土器「大家」)



(出土した呪符木筒)



(出土した各種木製品)



(木製品出土状況)



(発掘風景)



(トレンチ発掘状況)

### (3) 調査の概要

2 m×2 mのグリッドで基本的な土層を確認したが、遺構の確認を実施するため東西南北に細長いトレンチを設定し直した。予定地南側において、粘土質の黒色土層が広がっており、この層から木製品や土器が確認された。その上にみられる黒褐色の土層は表土であり、かく乱されている層である。出土遺物は粘土質の黒色土層から、平安時代末の土器や木製品が出土しており、その上面の層からは平安時代から鎌倉時代を中心とす

る土器や磁器が出土している。

調査区全体に広がる黒色土層は自然に堆積した層と考えられ、人為的な遺構を確認することができなかった。当時の環境として、河川沿いの湿地帯であったことが予想される。



(発掘状況)



(現地説明会)

### (4) まとめ

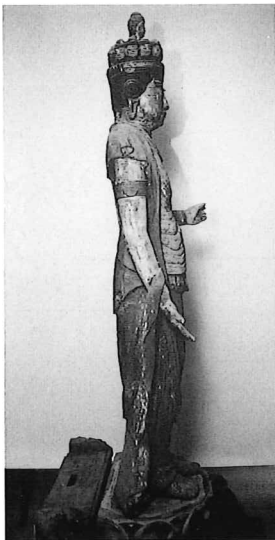
発掘された遺物は、いずれも祭祀的な要素が強い斎串やミニチュア土器、大量の松明が出土している。中でも特筆される遺物として、木簡と8世紀末の墨書土器が発見された。木簡は断片だが呪語を書いた「呪符木簡」とみられ、病気や天災の祈願に用いたものと考えられる。墨書土器は底部に墨で「大家（おおやけ）」と読むことができる。「大家」は一般的に建物や倉庫などを示す場合もあるが、律令国家の成立とともに役所を指す言葉にもなる。本資料がどのような意味を有しているかは、今後の調査を待つ必要がある。この地域の近くには当時の集落の存在も考えられるが、建設予定地内では見つからなかった。

## 2. 農村歌舞伎舞台報告書の発刊

但東町には、従来より農村歌舞伎舞台が多いと指摘されてきたが、具体的な資料がないまま今日に至っており、平成11年8月に調査を実施した。報告書は、現存する19棟の歌舞伎舞台と2棟の神楽殿を対象に総論と各論・図面・写真による構成で発刊した。

## 3. 但東町の仏像調査

近年、無住になっている神社仏閣等から仏像の盗難が相次いでおり、緊急調査として本町に残されている仏像の悉皆調査を目的に計画したものである。指定文化財として、県指定の仏像が2件、町指定が12件。基本的に記録調査を主目的としており、虫菌被害の有無、正面・背面・両側面・意匠細部の写真撮影等、現状観察から得られる情報収集に努めている。平成13年度と14年度の継続調査として実施中であり、台帳として管理していきたい。



(平安時代の仏像調査・西谷十一面観音)

## 4. 文化財調査委員会の開催

第1回文化財調査委員会においては、文化財担当者より「但東の庚申塔」並びに「但東の農村歌舞伎舞台」報告書の発刊について報告があった。また協議事項として、平成13年度における町指定文化財標柱設置、但東町の仏像調査、視察研修などの協議がされた。

また、6月に但東町立中学校整備委員会の中間答申による校地選定の提言を受け、予定地内の遺跡確認を主目的に8月に予備調査を実施した。その結果、遺構の残在可能性が高いと考えられたため、9月下旬から11月下旬まで文化財調査委員会による発掘調査を実施した。なお、この間には現地説明会並びに発掘調査にかかる委員会が開催された。

研修については、篠山城跡並びに大書院など城下町の見学と、新しくできたチルドレンズミュージアムと7月にオープンしたモンゴルの里にある、日本・モンゴル民族博物館の分館を見学した。

[文化財調査委員会委員 (5名)]

会 長：宇治田透玄

会長代理：武知憲男

委 員：森脇博亮 兼井通夫 小田博一



(文化財調査委員会)

## IV. 資料収集保存事業

資料の収集と保存は、博物館の最も基本的な機能である。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料として郷土やモンゴルに関する資料をも

収集対象としている。資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。

## 1. 寄 贈

### (1) 寄贈資料（敬称省略）

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	点数
平成13年5月7日	太 田 和 子	但東町	鋳物ストーブ	1
5月11日	ビクターエンタテイメント(株)	東京都港区	C D	2
5月28日	竹 野 町 下 村 区	兵庫県竹野町椒	農村歌舞伎舞台の道具一式	1
6月25日	宮津ロータリークラブ	宮津市鶴賀	ハダック（絹布）	
6月25日	大 沢 静 山	大阪市 大阪市民大学センター	モンゴル産松の実（タッパ入）	5
6月25日	S . デ ン ベ レ ル	モンゴル国 ウランバートル市	モンゴル産岩塩	1
8月4日	今 田 光 明	但東町	押 車 田打ち車	1 1
8月28日	サ ラ ン ゲ レ ル	モンゴル国 バヤンホンゴル県	フェルト絵 フェルト小物入れ 革製小物入れ 革製ペア人形 ビデオCD（ナーダム）	1 2 2 2 1
平成14年1月4日	高 木 義 彦	但東町	蓄音機 レコード約100枚	1 100
3月1日	G . ジ ャ ン チ ブ	山形市双葉町	きつねの毛皮	1

### (2) 図書寄贈者一覧（順不同・敬称省略）

【個人】

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	点数
平成13年5月7日	岡 井 主 税	京都府福知山市	書籍「蒙古の女ガロー」	40
5月7日	渋谷 友 美	京都府網野町	たのしいクッキング他	26
10月25日 11月3日	京 極 憲 洲	但東町	差納取調書上帳（写） 但馬世継記（写） 但馬国大田文（写）	1 1 1
11月5日	矢 野 宗 深	但東町	書籍「仏教思想の世界化」	1
11月24日	川 見 時 造	兵庫県日高町	書籍「古代の東代制が現代に生きている」	1
平成14年2月1日	中 野 利都夫	但東町	天正7年赤花始り之御水帳（写） 丹後国九鬼山覚性院西院光寺志（抄） 年表 丹後国九鬼山覚性院西院光寺志 （続）丹後国九鬼山覚性院西院光寺志 但馬国奥赤（花）村史 行政資料年表（1～7集）	1 1 1 1 3
2月7日	小 畑 宏 明	但東町	書籍「生きる力を育てる国語教室」	2
2月12日	丸 山 鶴 彦	兵庫県大屋町	書籍「満州 生きて拓いて」	1

## 【団体】

白もくれんの会「土生が丘」復刻版（上巻）1冊

## 【兵庫県】

兵庫県県民生活部、兵庫県青少年本部、兵庫県教育委員会、兵庫県立人と自然の博物館、神戸商船大学海事資料館、鉄斎美術館、姫路市教育委員会、家島町、加古川市教育委員会、市川町教育委員会、加古川総合文化センター、小野市教育委員会、西脇経緯度地球科学館、滝野歴史民俗資料館、赤穂市教育委員会、赤穂市立歴史博物館、龍野市立歴史文化資料館、佐用郡教育委員会、一宮町教歴史資料館、太子町歴史資料館、加東郡教育委員会、加美町教育委員会、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館、中町教育委員会、播磨町郷土資料館、但馬考古学研究会、八鹿町教育委員会、植村直己冒険館、出石町教育委員会、美方町教育委員会、淡路町教育委員会、津名郡町村会、西淡町立滝川記念美術館、辰馬考古資料館

## 【京都府】

大山崎町歴史資料館、城陽市歴史民俗資料館、福知山市教育委員会、大江町教育委員会、大宮町教育委員会、三和町教育委員会、京都府立丹後郷土資料館

## 【大阪府】

大阪府立弥生文化博物館、大阪市立自然史博物館、大阪青山歴史文学博物館、朝日新聞社

## 【その他】

（財）地域創造、アイヌ文化振興研究推進機構、北海道立北方民族博物館、八戸市博物館、東北大学東北アジア研究センター、天理大学附属天理参考館、天理大学考古学専攻研究室、和歌山県立博物館、徳島県立博物館、引田町民俗歴史資料館、村田町歴史みらい館

## 2. 購入資料（モンゴル関係）

- |             |    |
|-------------|----|
| ① ヤギ剥製      | 3体 |
| ② ラクダ剥製     | 2体 |
| ③ オブス県産岩塩塊  | 一括 |
| ④ 南戈壁県産地質標本 | 一括 |
| ⑤ 民族衣装      | 一式 |

## 3. 資料の貸出

- ① 相生市教育委員会  
民族衣装 6着・帯 2点・帽子 4点・靴 1点・馬頭琴 1点・松ヤニ  
平成13年7月19日～7月26日

- ② （財）鳥取童謡・おもちゃ館  
モンゴル将棋一式・ホロル（木札ゲーム）一式  
木製射的一式・骨製射的一式

平成13年8月30日～10月25日

- ③ 兵庫県立豊岡高等学校  
サンドブラスト1台・コンプレッサー1台・他機材一式

平成13年9月3日～9月6日

- ④ 京都府立峰山高等学校  
民族衣装3着・帽子3点・帯3点  
平成13年9月4日～9月8日

- ⑤ モンゴルの里  
ゲル1基  
平成13年10月15日～10月28日

- ⑥ 滋賀県自主活動センターきずな  
ゲル1基  
平成13年12月4日～12月12日

- ⑦ 出石町立小野小学校  
民族衣装6着・帯5点・帽子11点・馬頭琴1点  
モンゴル将棋一式他・解説パネル一式・写真パネル6枚  
平成14年2月22日～2月25日

- ⑧ 但東町立資母保育園  
ガラス彫刻機3台  
平成14年3月15日～3月23日

## 4. 資料の燻蒸

平成13年4月1日より2回に分けて、害虫駆除センター・クリーン有限会社にて、全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系の薬剤を使用し、3時間に渡って殺虫・防虫処理を実施した。収蔵庫内は年間3回定期的に殺虫・防虫処理を実施している。

## 5. 文化財標柱設置

町内に所在している町指定文化財の標柱を平成13年度事業として3カ所設置した。標柱の設置箇所は、出合市場〔経塚〕、西谷〔清竜の滝〕、佐々木〔宝篋印塔〕、に土地所有者の了解のうえ設置した。

また、国指定文化財である日出神社の解説パネルの老朽化に伴い付け替えをした。



(出合市場 経塚)



(西谷 清竜の滝)



(佐々木 宝篋印塔)



(畑山 日出神社解説板)



(畑山 日出神社)

## V. 普及教育事業

### 1. 出前授業

「博物館をとび出したら子どもたちの声が聞こえた」  
をキャッチコピーとした博物館が学校へ出かけていく

出前授業も3年目を迎え、ある一定の成果を得てきた。学校教育における博物館活用の方策については種々議論されてきたが、学校または教室全体が博物館に移動する困難さ、それに伴う教員の負担等、現場の教員が

抱える問題が指摘されている。また、教員の不得意分野をそのまま博物館に埋めてもらう利用の仕方についても、問題がないわけではない。教員に博物館利用を呼びかける施策としての出前授業であったが、博物館側においても教員の協力がなくては学社連携もできず、効果的な活用も望みにくくなっており、相互補完することよってのメリットを常に意識したいと思う。

これまでの出前授業を通してみると、学校によっては子どもたちを校外学習という形で連れて行きたいが、遠隔地のため思うように利用できないところも多く見受けられた。国際理解に関する学習機会を積極的に提供していくことで、博物館と学校との相互補完するメリットが生まれてきたのも事実である。実践の成果として、子どもたちの博物館に対するニーズが直接伝わり、博物館活動に活かしやすい。出前授業に参加した子どもたちが興味を更に広げるため、土・日曜に家族で博物館を訪れるケースが増えた。



(出前授業風景 1)

- ① 6月22日(金) 日高町全小学校4・5・6年生  
日高町文化体育館 (大岸・柴田)
- ② 9月14日(金) 伊丹市立荻野小学校2年生 (大岸)
- ③ 11月20日(火) 西脇市立双葉小学校1・2年生 (大岸)
- ④ 11月27日(火) 姫路市立花田小学校2年生 (金津)
- ⑤ 11月27日(火) 姫路市立山田小学校2年生 (金津)
- ⑥ 12月4日(火) 久美浜町立田村小学校2年生 (金津)
- ⑦ 12月6日(木) 宮津市立宮津小学校2年生  
(大岸・柴田)
- ⑧ 12月7日(金) 但東町立合橋小学校2年生 (渡辺)
- ⑨ 12月10日(月) 養父町立建屋小学校1・2年生 (大岸)
- ⑩ 12月11日(火) 豊岡市立奈佐小学校2年生 (渡辺)
- ⑪ 12月13日(木) 福知山市立昭和小学校5年生 (金津)
- ⑫ 12月15日(土) 和田山町立糸井小学校2年生 (大岸)
- ⑬ 12月17日(月) 豊岡市立八条小学校2年生 (大岸)
- ⑭ 12月18日(火) 三木市立別所小学校2年生 (大岸)
- ⑮ 1月18日(金) 但東町立資母小学校2年生 (大岸)
- ⑯ 1月22日(火) 香住町立奥佐津小学校1・2・3年生  
(大岸)
- ⑰ 1月25日(金) 明石市立大久保小学校2年生 (金津)
- ⑱ 1月31日(木) 兵庫県立豊岡高等学校1年生 (渡辺)
- ⑲ 2月1日(金) 神戸市立美賀多台小学校2年生(大岸)
- ⑳ 3月12日(火) 八鹿町立小佐小学校2年生 (大岸)



(出前授業風景 2)

## 2. 普及事業

### (1) 川の学校 (20人)

8月1日、竹野町在住の自然インストラクター本庄四郎氏を講師に、木村の太田川において川の学校を開き、魚や水生昆虫の観察・分別、ストーンペインティングなど自然体験学習を実施した。

## (2) 博物館教室

開催日	教室の内容	講師名	人数
7月24日	オリジナルグラスづくり 1回目	大岸勝也	6
7月26日	コーヒーカップに絵を描こう	大岸勝也	6
7月27日	オリジナルTシャツをつくろう	大岸勝也	3
7月31日	はんこづくり(篆刻) 1回目	渡辺保幸	17
8月1日	川の学校	本庄四郎	20
8月2日	勾玉ペンダント	渡辺律子	19
8月6日	土器教室 1回目	金津匡伸	16
8月9日	七宝焼アクセサリー	柴田明子	14
8月11日	はんこづくり(篆刻) 2回目	渡辺保幸	15
8月17日	木の枝で生き物づくり	大岸勝也	12
8月18日	ジオラマ(情景模型)をつくろう	河見康仁・尾崎大介	3
8月20日	土器教室 2回目	金津匡伸	16
8月21日	はんこづくり(篆刻) 3回目	渡辺保幸	16
8月23日	オリジナルグラスづくり 2回目	大岸勝也	3
8月26日	こわい話	淀逸郎	24
8月27日	鹿の角ペンダント	金津匡伸	5
8月28日	革のキーホルダー	高木義彦	21
12月2日	版画教室 1回目	大岸勝也	11
12月8日	版画教室 2回目	大岸勝也	8
12月9日	版画教室 3回目	大岸勝也	5
2月17日	かまくらづくり	職員・博物館協力会	22

## (3) 企画展講演会

平成13年度は2回の企画展を開催したが、第15回企画展「国策に散った開拓団の夢」については、より多くの人に但東町(高橋村)の悲しい史実を伝え、戦争というものを今一度思い起こし、世界の平和と人々の幸せな道を考えてみるため、講演会と展示説明会を開催した。

講師：山下幸雄氏(但東町平田在住)

とき：平成14年3月3日

場所：国際理解学習室

参加：50名

## 3. 「トライやるウィーク」の受入

兵庫県教育委員会の事業として中学生の地域体験学習「トライやるウィーク」で、生徒の希望に応じて博

物館体験を5月28日(月)から6月1日(金)までの5日間受け入れた。本事業は中学2年生が1週間、学校を離れて地域社会での実体験を通して学習する試みとして平成10度より始まっている。

博物館体験は但東北中学校の2年生3名で、早水悠真、水谷晋吾、山田将吾、職員として金津匡伸、大岸勝也、渡辺律子の3名が担当し、開館までの館内清掃・文化財(金蔵寺庚申堂)の実測・金蔵寺庚申堂復元図化などの博物館業務について実習をした。

### 【参加者の感想】

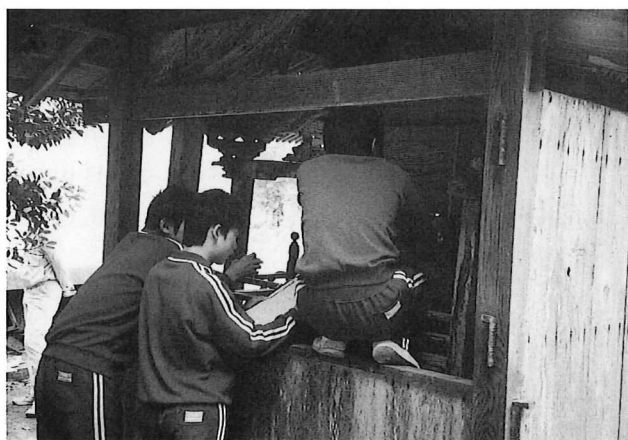
- ◎ 初日はとてもきんちょうして、なにをするのかなと思いつながら事業所に行きましたが、そのうち仕事にもなれてきました。博物館では実測がほとんどでしたが、わかってくればどんでんできたので楽しかったです。僕たちは、実測のしかたなどがわかりました。また、

電球交換などいろいろな仕事を体験しました。

- ◎ 知っている人がほとんどだったので、やりにくい面もありましたが、やりやすい面もありました。石にかいてある字をとるとき、紙をつかうとは知りませんでした。ほかに、スケッチするときメジャーは使っていましたが、点を書いてつなげることはわかりませんでした。いい勉強をしました。
- ◎ さいしょはあいさつができなかったが、日がたつにつれてできるようになりました。すすんであいさつする大切さ、返事の大切さを学びました。



(資料の整理)



(庚申堂の実測作業)

#### 4. 講師派遣

出前授業とは別に館外から依頼を受けて行った講師派遣を、月日・担当者・内容・(依頼者)の順に記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるのと観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

【平成13年度】

- ① 5月22日 金津匡伸 『モンゴルの過去と現代』  
県立いなみ野学園

- ② 6月26日 金津匡伸 『但東の文化財』  
但東町高齢者学級 高橋地区
- ③ 6月27日 金津匡伸 『但東の文化財』  
但東町高齢者学級 資母地区
- ④ 6月28日 金津匡伸 『但東の文化財』  
但東町高齢者学級 合橋地区
- ⑤ 7月28日 金津匡伸 『地方に暮らして世界を視る』  
神鋼パンテックユニオン  
スキルアップセミナー
- ⑥ 8月21日 金津匡伸 『日本・モンゴル民族博物館から』  
但東町教育研修会
- ⑦ 8月23日 金津匡伸  
『博物館を飛び出したら子どもたちの声が聞こえた』  
兵庫県立人と自然の博物館
- ⑧ 10月12日 金津匡伸 『但東の文化財』  
但東北中学校
- ⑨ 3月16日 金津匡伸 『いろいろな仕事』  
但東中学校1学年PTA研修

#### 5. 出版活動

- (1) 館外からの原稿依頼を受けて行った雑誌や機関紙等を記録しておく。これらも広義の普及教育活動につながるのと観点から、業務に支障のない範囲で依頼を受け入れることにしている。

- ① 平成13年7月28日 金津匡伸  
「但馬に暮らして世界を視る～モンゴルとの国際交流～」  
『パンテックユニオン オープンハウス  
スキルアップセミナー 播磨2001』
- ② 平成13年8月1日 金津匡伸  
「みて ふれて かんじる出前授業」  
『兵庫総合学習支援研究会』
- ③ 平成14年2月 金津匡伸  
「異文化からはじまる自文化の発見」  
『兵庫教育 2月号 兵庫県立教育研修所』
- ④ 平成14年3月 金津匡伸  
「博物館は学校のよきパートナー」  
『平成13年度全国子どもプラン 但馬地区  
推進委員会からの報告と体験活動実践例』

#### 6. ホームページの開設

近年、急速に発展している高度情報化社会にあつて、当館と利用者との架け橋として、インターネットを利用して、博物館情報を提供している。この活動は、利用者の皆様に親しまれる博物館として、より一層身近

に感じていただけるよう、平成11年8月に開設した。このホームページ開設に当たり、兵庫県国際交流協会からパソコン一式寄贈を受けている。

ホームページでは、当館が所蔵する資料の紹介、利用案内、企画展や講演会などの催し物情報等を、できるだけ最新の情報で提供している。職員による手作りのため決して満足いただけるものではないが、更新を重ねながら情報を提供していきたい。

博物館公式ホームページ

<http://www.2.nkansai.ne.jp/off/monpak>

博物館 E-mail アドレス

monpak@mx.nkansai.ne.jp

## 7. 子ども放送局

衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステム（エル・ネット）子ども放送局受信設備を平成11年度文部省の国庫補助事業である「学習活動支援設備整備事業」により設置した。

放映は毎月第2・4土曜日のみであるが、ほかに教育関係者を対象にした研修に活用した。

## 8. 博物館学芸員実習生の受入

滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科の学生（角尚子）1人を8月13日から24日まで、博物館業務の習得を目的に受け入れた。指導内容は、体験教室補助、近世文書の整理と解説、講演会の準備、受付補助、ホームページの作成、解説補助、施設見学（日本の鬼の交流博物館・京都府立丹後郷土資料館・伊藤美術館）。

### 【実習生の感想（原文のまま）】

博物館の内部に入り、10日間さまざまな仕事をかじらせていただき、一番に思ったことは事務や雑務の多さで、研究の時間がなかなか取れないのではないかと事だった。しかし、どの仕事も博物館という人々に知識を広め、興味をもってもらい、楽しんでもらうという考えを支えるためのものであり、無駄だと思ふことはなかった。

次世代教育や、生涯学習の場をこれからの博物館は担っていかなければならないと教えられてきたが、ここへ来て初めてその大切さが分かった。出前講座という展示品を持ってでかけ、触れて楽しんでもらうといったことをしておられるとお聞きし、驚くとともにそうやって人の中に入って行くことが、新しいこれからの体験型博物館の形ではないかと思わされた。固く考えるのではなく、教室を開催したときの子供たちの活き活きとした表情や、ロビーで涼みに来る高校生、多目的室で楽器で遊んだり、マンガを読む子供たち、熱心に道具を揃えて篆刻をするお年寄りの顔を見ると、こういう場を提供することが、大切なことで必要なことなのだと思う。

サービス業だと何日目かと思ったが、知識や体験から得る感情という目に見えないものをサービスし続けることの難しさ、遣り甲斐、それらをたくさん考えさせていただいた。

お忙しい中、ていねいにご指導してくださったり気を使ってくださったりと、あたたかいお心遣いをして下さった職員の皆様には、いくら感謝しても足りません。10日間の実習の間、博物館で働くことの忙しさと充実感を教えていただいた。

# VI. 国際交流事業

## 1. モンゴル国との国際交流

本町国際交流協会（福田芳郎会長）主催による中学生派遣事業として、モンゴル国へ奥田清喜町長を団長とする中学生7人、教師2人、一般参加1人、事務局2人の計13人を、8月19日から27日までモンゴル友好使節団として派遣した。モンゴル友好使節団派遣は隔年事業として実施している。

博物館5周年に伴い、モンゴル国大会議副議長ビャンバドルジ氏、モンゴル相撲横綱H、バヤンムンフ氏、モンゴル但東シルクロード友好協会事務局長S、デンベレ

ル氏からお祝いのメッセージをいただき、ロビーに掲示している。

## 2. モンゴル自然災害への支援活動

モンゴル国内で発生している自然災害による影響は今なお深刻な状況にあり、博物館受付に募金箱を設置してきた。数多くの入館者から募金の協力をいただき、8月の第5回但東町モンゴル友好使節団訪問時に募金より10万円、3月に博物館職員を派遣した際に13万円をオブス県マルチン郡長とバヤンホンゴル県知事に手交した。また、

本件につき両者より感謝状を受領し、博物館ロビーに掲示している。募金をいただいた多くの皆様に感謝申しあげる。

### 3. 職員のモンゴル派遣

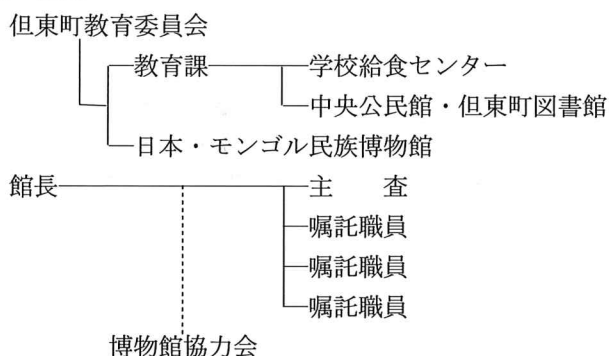
日本とモンゴルとの国交樹立30周年に伴い、但東町の

更なる国際交流の拡大と、博物館の充実に関する基礎調査のため、大岸勝也主査を平成14年3月1日から4日まで首都のウランバートル市に派遣した。モンゴル芸術家連盟副会長ボルド氏（現会長）との打合せ、新モンゴル高校の視察、モンゴル但東シルクロード友好協会との協議打合せ、展示資料およびミュージアムグッズの調査を実施した。

## VII. 管理運営

### 1. 組織・職員（平成14年3月31日現在）

#### (1) 組織



#### (2) 職員

館長	金津匡伸（平成8年11月～）
主査	大岸勝也（平成8年11月～）
嘱託職員	高木義彦（平成13年4月～）
嘱託職員	渡辺律子（平成8年11月～）
嘱託職員	柴田明子（平成13年4月～）

#### (3) 事務分掌

金津匡伸	博物館活動・事業の推進、博物館の管理運営、博物館の普及・広報活動、資料の収集・保管、資料の展示（常設・企画）、資料の調査研究
大岸勝也	博物館活動（講習会、教室、展示会等）、各種団体・機関との連絡調整、公民館との連携活動、博物館協力会、国際交流・民俗資料・民俗資料館の管理運営
高木義彦	博物館活動（講習会、教室、展示会等）・文化財調査委員会
渡辺律子	歳入歳出予算及び経理、博物館の庶務
柴田明子	入館者の受付・案内、公文書の経理、館内清掃に関すること

### 2. 予算の概要（当初予算額）

[博物館費]	46,446 千円
① 給料(2人)	7,710
② 職員手当等	13,420(管理職手当 367、扶養手当 660、調整手当 437、通勤手当 393、時間外勤務手当 687、期末手当 4,449、勤勉手当 865、寒冷地手当 179、住居手当 282、嘱託手当 5,101)
③ 共済費	1,464
④ 旅費	899
⑤ 需用費	12,123(消耗品費 1,812、印刷製本費 918、光熱水費 7,667、営繕費 1,726)
⑥ 役務費	971
⑦ 委託料	1,872(警備保障委託費 276、電気保安点検料 207、資料燻蒸 212、ガラス清掃委託料 183、フロア清掃委託料 282、軒先清掃委託料 84、自動ドア点検委託料 118、シルバー委託料 510)
⑧ 使用料及び賃借料	1,426(使用料 1,426)
⑨ 備品購入費	1,600
⑩ 負担金	41(県博物館協会 10、但馬地域博物館連絡会 25、テレビ組合 6)
⑪ 公課費	19
⑫ 企画展費	3,600(報償費 20、需用費 3,460、役務費 120)
⑬ 活動費	1,301(報償費 552、需用費 749)

[文化財費]	1,771 千円
① 文化財調査委員会費	259(報酬 139、旅費 100、需用費 20)
② 埋蔵文化財調査費	320(需用費 60、委託料 260)
③ 文化財調査保存費	1,192(報償費 300、旅費 88、需用費 678、備品購入費 126)

### 3. 入館者利用状況

平成8年11月3日に開館してから5年5カ月が経過した。累計で172,562名の方に見学して頂いた。

平成13年度の内訳は下記のとおりであるが、利用者数31,087名で有料が19,195名、無料が11,892名である。但東町民の博物館利用は4,688名で全体の15%程

度であり、前年度より町民の利用者が増加した要因として伝承文化体験交流館が竣工したためである。最終的に6.5%の増加となった。

また、雪の多い但馬というイメージから、通常は一般利用者の冬季における利用率が極端に低くなる傾向にあり、全体を通して利用者は増えているが、季節や天候に左右されやすい環境には変わらない。

【平成8年度（開館日：123日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民								1,507	464	361	407	646	3,385
一般								2,409	1,052	960	1,173	2,545	8,138
高大								26	28	19	20	159	252
小中								183	37	103	96	367	786
その他								3,000	1	19	63	159	3,242
計								7,125	1,581	1,462	1,759	3,876	15,803
1日平均								297	69	58	73	144	128

【平成9年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	762	445	404	492	530	259	251	255	240	261	212	337	4,448
一般	4,251	3,262	3,100	1,898	2,882	2,085	2,232	2,736	1,172	833	1,153	1,666	27,270
高大	45	61	33	17	172	38	14	12	6	18	15	145	576
小中	436	418	109	149	544	213	147	102	32	66	39	199	2,454
その他	359	610	245	973	372	173	204	448	96	125	137	248	3,990
計	5,853	4,796	3,891	3,529	4,500	2,768	2,848	3,553	1,546	1,303	1,556	2,595	38,738
1日平均	234	178	150	136	167	106	110	137	67	54	65	96	126

【平成10年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	450	283	263	286	466	318	289	322	223	98	133	255	3,386
一般	4,712	1,719	1,173	1,051	1,607	1,120	1,582	2,271	935	1,727	2,307	1,213	21,417
高大	42	30	11	54	266	97	10	24	7	5	12	73	631
小中	561	152	41	66	322	43	36	65	29	37	33	127	1,512
その他	569	612	252	284	367	490	337	414	122	173	185	283	4,088
計	6,334	2,796	1,740	1,741	3,028	2,068	2,254	3,093	1,316	2,040	2,670	1,951	31,034
1日平均	235	104	67	76	112	83	83	119	57	85	111	75	101

【平成11年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	287	277	371	453	499	275	324	267	166	160	139	188	3,406
一般	3,975	1,707	1,149	1,084	1,966	930	1,380	1,526	738	720	664	821	16,660
高大	43	41	15	32	126	11	69	19	9	7	15	22	409
小中	602	190	10	59	280	29	44	41	21	41	38	95	1,450
その他	1,229	418	283	242	706	183	482	340	171	206	221	316	4,797
計	6,136	2,633	1,828	1,870	3,577	1,428	2,299	2,193	1,105	1,134	1,077	1,442	26,722
1日平均	227	98	73	69	132	60	85	84	48	47	43	55	87

【平成12年度（開館日：307日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	758	411	378	518	830	296	527	280	214	137	311	271	4,931
一般	4,308	1,494	1,043	976	1,362	1,087	1,363	1,145	733	410	834	869	15,624
高大	167	59	20	10	62	21	13	50	11	3	11	31	458
小中	559	181	17	61	194	50	37	26	42	38	42	60	1,307
その他	1,824	688	396	304	587	484	638	528	397	147	434	431	6,858
計	7,616	2,833	1,854	1,869	3,035	1,938	2,578	2,029	1,397	735	1,632	1,662	29,178
1日平均	272	105	71	69	117	75	96	88	61	32	68	62	95

【平成13年度（開館日：308日）】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
町民	460	405	426	415	630	496	453	376	143	275	340	269	4,688
一般	4,831	1,495	1,166	665	1,200	1,537	1,216	1,665	977	726	703	1,180	17,361
高大	198	34	13	7	49	12	24	193	41	2	10	24	607
小中	514	72	27	30	187	100	40	56	47	47	35	72	1,227
その他	2,537	703	445	315	545	420	516	446	437	279	213	348	7,204
計	8,540	2,709	2,077	1,432	2,611	2,565	2,249	2,736	1,645	1,329	1,301	1,893	31,087
1日平均	316	104	80	53	100	99	87	105	72	55	54	70	101

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。

(2) 補修工事

① 中庭外壁補修・塗装工事

中庭（屋外展示場）の壁面にクラックが入り、周囲に錆が付着。雨水がクラックに入り雨漏れの恐れがあるため、クラックにシリコンを注入後、壁面塗装を行った。



（中庭外壁補修・塗装）

## ② C棟漏水防止工事

C棟東側のガラスコーキングが紫外線等により劣化し管内に漏水したため、コーキング部及び壁面に防水処理を行った。



(漏水防止工事)

## 5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣己氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。平成13年の活動内容は以下のとおり。

### ◎平成13年役員

(任期：平成13年1月1日～12月31日)

会長 宮垣敬一

常任理事 塩川剛三

理事 14名 顧問 5名

### ◎平成13年活動内容(1月～12月)

【平成13年度】

- 2月12日 かまくらづくりに協力
- 2月16日 役員会
- 3月25日 博物館前販売所開店
- 5月6日 カンナ植付け
- 6月17日 博物館芝生除草作業
- 9月23日 日本・モンゴル民族博物館5周年記念事業協賛
- 10月8日 如布神社神楽披露
- 11月11日 カンナ球根掘・役員会・懇親会
- 11月25日 博物館前販売所閉店

3月25日から11月25日まで延べ56日、博物館前の販売所にて観光案内と物産販売を実施し、ボランティア99人の協力を得た。

## 6. 博物館日誌抄

- 4月2日 辞令交付式
- 4月5日 中庭壁面塗装 (～7日)

- 4月16日 時を奏でるホテル新人研修
- 4月18日 第14回企画展展示替え作業
- 4月19日 合橋小学校5・6年生校外授業、兵庫国際ビジネス専門学校視察、福岡県赤星様資料借受来館、毎日新聞企画展取材、梅谷光信弁護士来館
- 4月20日 たんとうチューリップまつり開園
- 4月22日 日高町教育委員会白岩氏来館
- 4月23日 第14回企画展オープニングセレモニー、朝日新聞・神戸新聞取材
- 4月24日 但馬県民局長位田武敏氏・地域振興部長山本和範氏来館
- 5月11日 町内新任教職員研修受入、但馬文教府長久下隆史氏来館
- 5月2日 NHK神戸放送局取材
- 5月4日 神戸商船大学海事資料館来館、島根県斐川町役場農産課長他来館
- 5月8日 スーチンドロン氏来館
- 5月11日 久美浜町立高龍中学校校外学習(2年生75名)
- 5月18日 消防施設点検
- 5月27日 こうのりの会但馬交流会53名、子育て学習センターさつまいも苗定植
- 5月28日 トライやるウィーク開始3名受入(～6月1日)、サンテレビ取材、農村歌舞伎舞台道具類 竹野町へ引取
- 6月8日 D. ウルタナサン氏作「四季遊牧」額装搬入展示、資母小学校4年生22名校外授業
- 6月14日 合橋小学校3年学年PTA来館、雑誌るるぶ取材、宮津ロータリークラブ7名来館
- 6月23日 高槻市中央ライオンズクラブ9名視察、モンゴル日本国大使館S. デンベルル氏、大阪大学学生D. バヤスガラン氏来館
- 7月2日 出石警察署浜本氏来館
- 7月3日 毎日テレビ三多隆志氏来館
- 7月5日 高橋小学校3年25名校外授業、資母小学校2年7名校外授業、神鋼パンテック来館 非常用放送設備修理
- 7月6日 国家公務員新任研修3名受入れ
- 7月10日 町教育委員会新任研修2名受入れ
- 7月15日 子育て学習センター体験農園の除草作業
- 7月17日 JTB前川氏他7名下見来館
- 7月19日 県立いなみ野学園30名視察
- 7月18日 平成11年度会計監査
- 7月27日 但東ライオンズクラブ主催による留学生(17～21才)10名視察
- 7月31日 但馬教育事務所芦田主任指導主事来館(エルネット講座)

8月2日	但東町女性学級受入れ（博物館教室・勾玉ペンダント）、全但税研修会31名受入れ、資母振興協議会 40名来館	11月12日	両丹経済新聞取材、県へき地教育研究会20名来館
8月4日	稲美町互助会58名視察	11月16日	管内教育委員会担当者エルネットによる事業説明会
8月6日	県子供会連絡協議会事務局長速水順一郎氏来館、但東北中学校「トライやるウィーク」研修生の奉仕作業	11月19日	町教育研究協議会研修受入れ
8月9日	豊岡病院眼科医会議受入れ	11月26日	コープこうべ14名視察
8月13日	日韓リーダーディスカッション（県子供会連絡協議会）30名来館、滋賀県立大学学生博物館実習生受入れ（～24日）	11月27日	朝日新聞取材
8月21日	但東町教育研修会但東学B部会研修受入れ	11月29日	資母保育園保護者会
8月23日	出石郡社会科担当者会22名来館	12月3日	会計監査
8月25日	怖いお話会（講師・淀逸郎氏）	12月4日	滋賀県水口町国際交流協会ゲル借出来館・12／13返却
8月27日	神戸新聞取材	12月7日	関西学院大学（関根ゼミ）14名視察
8月30日	鳥取わらべ館資料借用のため来館	12月8日	姫路工業大学（吉田ゼミ）17名視察
9月4日	朝日テレビ（おはよう朝日）取材、県文化財室村上係長日出神社視察	12月11日	エルネットによる教育委員会財務事務担当者研修会
9月13日	豊岡病院精神科医研修19名受入れ	12月16日	県立いなみ野学園インターネットクラブ 36名視察、黒田庄町商工会青年部10名視察
9月14日	決算審査	12月20日	館内燻蒸
9月18日	宮津ロータリークラブ小林氏来館	12月26日	第15回企画展展示替
9月19日	館内清掃	12月27日	国際協力事業団東北支部長香川啓三氏来館
9月20日	全但結婚相談員研修会受入れ	12月28日	神戸新聞取材
9月23日	博物館開館5周年ありがとう感謝祭	1月4日	第15回企画展開催
9月25日	中学校建設予定地発掘調査開始	1月5日	読売新聞・神戸新聞・朝日新聞企画展取材
9月27日	第15回企画展打合せ	1月7日	日本海新聞取材
9月29日	日本・モンゴル友好使節団反省会	1月9日	道立北方民族博物館学芸員中田篤氏・しゃがあ西村幹也氏資料調査来館（～10日）
10月1日	町政45周年記念式典、旅行読売取材来館	1月11日	関西テレビ取材
10月5日	資母小学校24名課外授業来館	1月14日	毎日テレビ三多隆志氏来館
10月9日	産経新聞取材、石の彫刻「環界-IV」モニュメント移設工事	1月17日	兵庫県子供会連絡協議会来館、常設展一部展示替
10月15日	モンゴルの里ゲル貸出し	1月18日	毎日新聞取材
10月18日	氷上町植野記念美術館八木甫瑛子館長来館	1月19日	豊岡健康福祉事務所19名視察
10月21日	子育て学習センターさつまいも収穫	1月20日	資母小学校5年学年PTA交流会
10月22日	豊岡出土文化財管理センター潮崎誠氏来館、鳥取わらべ館より資料返却	1月21日	矢根大石家文化財調査（金津・大岸）
10月23日	養父町議員同友会16名視察	1月29日	ひょうたんフィルハーモニック三木氏他来館
10月26日	手づくりのおもちゃ研究会篠原勝彦氏来館	2月6日	篠山市チルドレンズミュージアム森田副課長他来館
10月27日	柳田國男・松岡家顕彰会記念館友の会32名視察	2月9日	作家森村誠一氏新春講演会出席（金津・大岸・高木）
10月30日	町内小・中学校三原石田遺跡発掘現場見学会		
11月1日	京都府加悦谷高校77名校外研修		
11月6日	読売新聞取材		
11月8日	京都府加悦谷高校81名校外研修		
11月10日	豊岡出土文化財管理センター潮崎誠氏館蔵資料撮影		
11月11日	博物館協力会球根掘り・芝手入れ		

2月10日 作家森村誠一氏来館、読売新聞取材



(森村誠一氏来館)

- 2月12日 合橋小学校3年27名伝承館で校外学習
- 2月15日 資母小学校3年23名伝承館で校外学習
- 2月16日 博物館協会総会
- 2月17日 かまくらづくり37名参加・スタッフ16名
- 2月21日 三原石田遺跡発掘調査概要プレス説明会(金津)産経新聞・朝日新聞・毎日新聞・読売新聞取材
- 2月22日 モンゴル大使館レセプション(金津)
- 2月24日 東北大学大学院G. ジャンチブ氏他来館
- 2月26日 スーチンドロン氏来館
- 2月28日 波賀町社会教育委員研修9名来館
- 3月1日 大岸主査モンゴル国出張(～3/4)、日出神社組物撮影・スタジオQ来館
- 3月3日 企画展講演会(講師山下幸雄氏)
- 3月4日 神戸新聞峰大二郎氏着任あいさつ
- 3月9日 毎日テレビ三多隆志氏来館
- 3月11日 資母小5年ビデオレター取材
- 3月12日 第16回企画展打合せ
- 3月15日 但馬教育事務所尾崎指導主事来館
- 3月19日 矢根大石家資料引取り
- 3月28日 消火器詰替え田中消防
- 3月29日 退職者辞令交付式

## 7. お客様の声より(抜粋)

以下は平成13年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員としては真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

◎ 4月8日 明石市(女性)

わたしたちの学校はモンゴルの小学校とこうりゅうをしています。モンゴルからきたチョコトーさんにいろいろ教えてもらいました。このはくぶつかんにも手紙をおくりいろいろおしえてもらいました。ありがとうございました。

◎ 4月8日(女性)

今日は子どもの希望によって入ってみました。案外と皆楽しそうです。桜を見に来たはずでは……?このゲルの中に入ると自然と落ち着いた気分になってしまいました。やはり、日本人のDNAの中にもモンゴルの記憶が秘められているのでしょうか。

◎ 4月14日(女性)

モンゴルってどんな国、どんな人が住んでいるの?どんな衣装・髪飾り?どんなものを食べていたのかな?いろいろな事を考えながら見せていただき感激しました。テント生活も一度してみてもいいかな。素朴な感じで素敵でした。またきますね。

◎ 4月14日 埼玉県(女性)

今日は埼玉から観光に来ました。モンゴルの人達の生活がゆっくりと楽しむことができました。

◎ 4月16日 大阪市(女性)

山崎豊子の「大地の子」をみてからテレビでここを知り、一度来てみたかった。遊牧の人達はこういう生活やねんな。高音と低音が同時に出る口笛……、モンゴルの雰囲気に浸っております。

◎ 4月19日 福知山市(男性)

モンゴル館に初めてきました。モンゴルの家の実物をみてとても感動しました。バットが固いのびっくりしましたがモンゴルの人達は毎日この家で生活しているんだなあと思いました。楽しかったです。

◎ 4月20日 京都府舞鶴市(女性)

とてもいいところです。全国の人にPRされますように……。

◎ 4月20日(女性)

モンゴルの衣装を着て写真を撮りました。衣装をもう少し増やしてほしいです。また、なぜここにモンゴル博物館?と思いつつ職場にモンゴルの人がきているので知りたくてきました。

◎ 4月20日 兵庫県関宮町(女性)

昔の暮らしをみて、ふるさとの暮らしが懐かしくよみがえりました。

◎ 4月21日 神戸市西区(女性)

民族衣装を着て写真を撮りました。また、楽器を直接手で触れることができ嬉しかったです。普通博物館の類は、ガラス越しが多いのですがここはゲルの中も実際に触れることができよかったです。

◎ 4月25日 京都府峰山町(男性)

但東町の取り組みに感心しました。

◎ 4月26日 神戸市西区(女性)

ホームーのコンサートがあればまた来たいです。

◎ 4月28日 京都府宮津市(女性)

以前住んでいた明石市の配布物で知りました。実際

- に触ってみられるものが多く、子どもも楽しくみることができました。博物館の展示物で実体験できるところが素晴らしいです。
- ◎ 4月28日 大阪府枚方市（女性）  
何に使ったのか分からないので説明書がほしい。楽器を弾いたり、服を着て写真を撮ったり、家の中でくつろいだり、子どもたちも十分楽しめた様子でした。
- ◎ 4月29日 神戸市（女性）  
家族五人でチューリップまつりに来ました。あいにくの雨、昨年次男がモンゴルからシンバル先生が神戸市立長坂小学校に来校され、子どもたちにモンゴルの衣装や生活、遊びなどたくさんを教えてくださいました。モンゴルについてとても親しみを覚えており、但東町の博物館に来ることを大変楽しみにしていました。衣装を身にまどって写真を撮ったり、遊び道具で遊んだり楽しい一時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- ◎ 4月30日（女性）  
ここで見るモンゴルは豊かな印象で、豊かな文化をもっていますね。最近ニュースで問題になっているストリートチルドレンはどうしているのかしら……。
- ◎ 4月30日 奈良県（女性）  
チューリップまつりに来て立ち寄りしました。こちらは3回目ですが、モンゴル博物館は初めて、展示を見て是非モンゴルに行ってみたくなりました。
- ◎ 4月30日 大阪府池田市（女性）  
モンゴルとの関係を職員の方がいてねいに教えてください、勉強になりました。ありがとうございました。
- ◎ 4月30日 京都府網野町（女性）  
展示物が充実していて大変よかったです。思っていたよりたくさんの展示があったのでまたゆっくり来ようと思います。
- ◎ 5月3日 京都市長岡京市（女性）  
昨年の年末に寄りましたが閉館でしたので再度きました。以前訪れたときよりも、展示物が充実していてとても良かったです。楽器や図書、映像など、触れてみて楽しめるものが沢山あって子ども連れでも十分に楽しむことができました。
- ◎ 5月3日 兵庫県生野町（女性）  
長男が昨年国語の教科書で「スーホの白い馬」を習いました。馬頭琴を見たいということで来館しました。教科書で習ったのでモンゴルという国を身近に感じているようでした。
- ◎ 5月4日 兵庫県猪名川町（女性）  
これ程の資料があるとは思いませんでした。モンゴルを堪能させて頂きました。
- ◎ 5月5日 兵庫県但東町（男性）  
久しぶりにモンゴル博物館に来ました。大学で多少なりとも知識を蓄えてから来るのでは、やはり違う。是非夏にはモンゴルに行きたい。頑張って勉強します。
- ◎ 5月5日 広島県東広島市（女性）  
モンゴルの歴史から食生活までわかり大変楽しかったです。あえて希望を言えばモンゴルのパンやチーズ・ビールなど食べられる企画があればもっとよかったです。
- ◎ 5月5日 兵庫県氷上郡（女性）  
なんか1回目、2回目と比べいろいろわかってきてよかったです。大変楽しく見せて頂きました。
- ◎ 5月23日 兵庫県但東町（女性）  
ゲルという建物に初めて入りました。入り口は狭かったのですが、中は大変ゆったりとできており感心しました。神秘的な音楽が流れておりモンゴルへ来たようなきもちにさせられました。
- ◎ 5月25日 神戸市垂水区（男・女性）  
モンゴルの災害に、但東町から支援されて感謝された文面を読んで但東町の方々に感激しました。今、NHK大河ドラマ北条時宗にフビライが出て来ますので興味もふくらみます。この点、もっと便乗PRを……。但東町の訪問は今回が初めてですが月1回はリフレッシュに訪れたいと思います。町の発展と町の皆様のご多幸を願って止みません。
- ◎ 5月26日 神戸市北（男・女性）  
アジアの国が仲良く交流し、お互いに文化交流をして世界平和のため助け合っていきたいと思います。
- ◎ 6月2日 京都府大宮町（男性）  
モンゴルには以前より興味がありました。ゲルも初めて、本・ビデオも沢山あって楽しかったです。
- ◎ 6月3日 京都府宮津市（女性）  
なぜ但東町とモンゴルが友好関係……？不思議でした。こうしてゆっくりと展示を見ているとモンゴルの文化や日本との関係が少し理解できました。テレビなどで得る情報よりもリアリティーがあり来て大変よかったです。
- ◎ 6月9日 大阪府茨木市（女性）  
今年の夏、私たち茨木市「たんぽぽ少年少女合唱団」はモンゴルに演奏旅行に行きます。モンゴルの勉強をするために今日は来ました。
- ◎ 6月15日（男性）  
やっと念願かない今日来館できました。展示品が多く見ごたえがあり来てよかったです。
- ◎ 6月23日 京都府舞鶴市（男性）  
北条時宗を見ていて元寇の話になってきたので興味をもってやってきました。遊牧生活の実際がわかり、

実物のゲルや生活用品などをみて、以外に広く快適な住まいで、民族衣装も気に入りました。デザインなどモンゴル人のセンス、すごいなあと感じました。また、大河ドラマに出演している人々を呼んで催しものなどいかがでしょうか。

◎ 6月23日 神戸市須磨区 (男性)

4年ほど前にきて以来なのですが、とても内容が増えていて楽しく見ることができました。

◎ 7月16日 大阪市平野区 (男・女性)

大河ドラマ「北条時宗」見ていたので、実際に見て感じれたのがとてもよかったです。

◎ 7月22日 兵庫県三木市 (女性)

企画展は、小規模ながら内容・展示ともに充実していてよかったです。主人が最近モンゴル史にこっており、近場にこのような博物館があることを、小野市の好古館にて知り来訪させていただきました。楽しみにして来たかきがあり、とても満足しています。ありがとうございました。

◎ 7月26日 鳥取県岩見町 (男性)

初めて来てみて、日本とモンゴルの文化や生活の違いを感じました。

◎ 7月29日 神戸市西区 (男性)

いなみ野学園で金津館長の講演を聴いて少しわかったつもりでいましたが、実物を見て、また触って本当に来てよかったです。2学期に入ったら学園の皆さんにも話せることができます。

◎ 7月30日 大阪府豊中市 (男・女性)

アカデミックな構成で、内容も充実していますね。頑張ってください。また来ます。

初めてきたけど、ゲルに入れたり楽器を弾いたり、衣装を着たりすごく楽しかったです。勉強になるし、また来たいです。

◎ 7月31日 兵庫県明石市 (女性)

「スーホの白い馬」の絵本何十回と読みましたが、その都度感激します。広々とした草原の国にとてもあこがれます。日本のようにどこに行っても新しいものばかりというのではなく、昔ながらの遊牧をしている人たちって、すごいなあと改めて思いました。

◎ 8月2日 兵庫県川西市 (女性)

ミヤットエア一の機内誌で知りました。2年前モンゴルへ行きました。そのときまでモンゴルに対してそれ程興味がなかったのですが、モンゴルで実際に生活をしてみて人の温かさを知り今回来館しました。ゲルも訪れた時のものと同じでビックリしました。チャンスがあればまたモンゴルに行って、友達になったたかさんのひとに会いたいものです。また、展示のほかになにか体験できるものがあればもっとよいと思います。

モンゴルのお茶・お菓子などいつ来ても何か実際に味わえるといいと思います。

◎ 8月3日 大阪府枚方市 (女性)

初めて来ましたが親しみをもつことができ、大変楽しめました。展示物もなかなかよかったですよ。イベントなどの企画をすともっとよくなるのではないのでしょうか。

◎ 8月4日 大阪府東大阪市 (男性)

通りがかりに立ち寄りしました。非常にうまくまとまっていて、モンゴルと日本の関係がよくわかります。服も自由に着れて写真も撮りました。背景の場所がほしいです。

◎ 8月5日 兵庫県芦屋市 (女性)

旅行の途中で、父に見ていこうと言われたときは、「ど～せたいしたことはない」と思って来てみました。館内に入ってほんとうにビックリしました。その内容のよさは、改めてもう一度来てゆっくりとしてみたいと思います。ありがとうございました。

◎ 8月5日 台湾省台中県神岡郷

有幸到此一遊。十分高興。真希望也有一套蒙古民族的衣装。太漂亮

◎ 8月12日 茨城県水戸市 (女性)

服や楽器などに触ったり、ボタンを押してお話を聞いたり、骨でできたおはじきで遊んだりできて、とても楽しかった。でも、プレーリードックが穴に入っていて残念でした。

◎ 8月13日 兵庫県明石市 (女性)

10月にモンゴルに旅行に行こうかと迷っていて……。一度モンゴルとはどんなところなのかということを見に来ました。服を着て、写真を写せてよかったです。

◎ 8月14日 大阪府枚方市 (女性)

学校卒業以来忘れていた基礎的地理・歴史を思い出しました。歴史を振り返ればいろいろな民族の争いとおして今があるといえ、一人一人個人の思いは平和な生活だと思えます。

◎ 8月14日 兵庫県姫路市 (女性)

すごくおもしろかったです。わかりやすくて。ゲルの中に入れたり、民家に入れたりするのがよかったです。

◎ 8月14日 滋賀県水口町 (女性)

ここに来て、モンゴルの暮らしや着ているものなどがわかりました。思ったよりいっぱい展示してあって大変よかったです。

◎ 8月17日 大阪府寝屋川市 (女性)

ゲルの中まで入れるのがよかったです。大阪の民博では入れませんでしたので。

◎ 8月19日 神奈川県川崎市 (女性)

大変興味深く見せていただきました。住居や家具、調

理道具おもしろかったです。宗教関係の展示物もよくそろえられていると思います。ありがとうございました。

◎ 8月23日 大阪府枚方市（女性）

モンゴルのパオ（ゲル）で眠りたいと思いつけています。今日は少しの時間でしたが横になってみました。触れる展示物が多いのがうれしいですね。

◎ 8月23日 兵庫県猪名川町（男性）

馬頭琴を実際に触らせていただいたり、わがままなお願いにも快く応じてくださったことを感謝いたします。子どもたちにとって、忘れられない思い出となったことでしょう。また何度でも来させて頂きたいです。

◎ 8月25日 大阪市住吉区（男性）

展示品にもう少し説明があればと思います。説明のついてないものが多いように思いました。

◎ 8月25日 大阪府守口市（男性）

一昨年モンゴルに旅をしました。地図にない日本人墓地にお参りして涙を流して来ました。標高1500m、高山植物の多いこと、伊吹山も足元にも及びません。機会があれば元気なうちにもう一度行きたい国です。

◎ 8月26日 兵庫県太子町（女性）

何か月かまえに来たとき「今度は長崎県にいる母親を連れて来たい」と書いておりましたが、本当に連れて来ました。よかったと言っていました。ありがとう。

◎ 8月27日 兵庫県但東町（女性）

プレーリードックが見れなくて残念でした。学校の展示をまたしてほしい。昔の家、楽しかったです。

◎ 8月27日 兵庫県加古川市（女性）

ゲルの中は以外と狭かったです。テレビではもう少し大きく感じていたので……。質素ではありますが人間本来の姿かも知れません。私たちはぜひたくに暮らしているのでは……。

ゲルが本当に機能的にできているのには感心しました。

◎ 8月30日 兵庫県三木市（男性）

兵庫県三木市高齢者放送大学のメンバーで見学させて頂きました。館長様にはお忙しい中、いろいろ説明して下さいますて誠にありがとうございました。

◎ 8月31日 兵庫県滝野町（女性）

一度来たかったので満足しました。展示物も充実しており、時間が足りないほどでした。

◎ 9月8日 兵庫県龍野市（女性）

子どもが学校の先生に聞いて来ました。すごく、いろんなものが展示してあって勉強になりました。小学校の遠足にも使ってほしいです。

◎ 9月15日 京都府網野町（女性）

ずっ～ときたいと思っていた、ここモンゴル博物館に来れました。期待以上の展示物に驚き、実際ゲルを

見て中に入って見るとすごく興味がわきます。また、衣装も着ることができ本当に楽しんでいます。

モンゴルに行きたい!!そう思う気持ちがさらに大きくなりました。今度くるときは、モンゴル好きの妹と来ます。

◎ 9月16日 京都市（男性）

大学でモンゴル史を専攻しており、是非来たいと思っていました。大変勉強になりました。

◎ 9月20日 京都市山科区（男性）

モンゴル新聞・雑誌等で知識を得ていたが、実際見学してみて非常に合理的に生活している物品などを見学することで、古代の時代がよく理解できました。

◎ 9月20日（女性）

昨日来たら休館日で残念!。でも今日、またやってきました。ゆっくり見て回ることができ、ゲルの中でくつろいだりよかったです。遊牧生活の厳しさを体験しにモンゴルに行ってみたい。

◎ 9月23日 兵庫県姫路市（女性）

5周年おめでとうございます。お葉書いただきありがとうございます。今後もいろんな催し事の案内がいただけると嬉しいです。

◎ 9月23日 神戸市兵庫区（女性）

モンゴル衣装を着て写真を撮りました。バックの絵もモンゴルの草原で、この連休家族でモンゴル旅行をした気分でした。

◎ 10月8日（男性）

昨年の夏にモンゴルに新婚旅行に行ってきました。モンゴルは本当によかったです。この博物館に来た人でモンゴルに行ったことのない人は是非行ってみてください。

◎ 10月13日（女性）

電波少年を見て、モンゴルに興味をもちツーリングの途中よってみました。モンゴルの方は日本人に顔がよく似ているので親しみやすいです。おまけにゲルという住居は妙に居心地がよい。なつかしい気がするのは気のせいでしょうか。モンゴル人の生まれかわりかな?私は。

◎ 10月21日（女性）

すばらしい!。モンゴルという国にとっても興味をもちました。ゲルの中はテレビで見たときより広く、快適でびっくりしました。移動するのは大変だと思いますが自然の中で暮らせてうらやましい。

◎ 10月23日（女性）

ドライブ中に見つけ、小学2年生と4歳の子どもを連れてきました。2年の子は「スーホの白い馬」に大変興味をもち、とても勉強になりました。衣装も着れて、家族全員楽しい一時になりました。

- ◎ 10月29日 大阪府交野市 (女性)  
道沿いの看板を見て来ました。民族衣装を着れるのがよかったし、時間があれば上映している映画をゆっくり見たかった。
- ◎ 11月3日 兵庫県出石町 (女性)  
小2の息子が国語で「スーホの白い馬」を今習っています。モンゴル館に行きたいといい家族で来ました。ゲルの中の華やかな色使いに感心し、モンゴルと馬は深〜いつながりがあることを痛感しています。お話しビデオや音楽、ゲル・衣装・馬頭琴と本物に触れ話が膨らみます。
- ◎ 11月6日 京都府網野町 (男性)  
500円分はしっかり見て帰れると思います。服も試着でき、但東町の暮らしのところで昔の家の座敷に上がったのもよかったです。
- ◎ 11月10日 兵庫県伊丹市 (男性)  
しょうがっこうで「スーホの白い馬」をならっているときモンゴルはくぶつかんの先生がきてくださいました。おおぎし先生に会いたかったで〜す……た〜くん。  
息子は大のモンゴルファンです。テレビを見たり、図書館で本を借りたりしています。今日は博物館に連れて息子は大喜び、モンゴルの服を着て記念写真を撮りました。私たち来てよかったです。
- ◎ 11月17日 京都府宮津市 (男性)  
青年海外協力隊OBですが、モンゴルの隊員の話をよく聞いていたので、とても参考になりました。現地でのJAICA、JOCVの紹介もしてくだされば嬉しいです。
- ◎ 11月17日 (女性)  
ゲルの中には、寝るところも食べる場所も洗面所も一所、寒いところだからでしょうが……。みんな仲良く暖かさを感じますね。
- ◎ 11月20日 (女性)  
城崎の帰り、どうしても気になって寄ってみました。ゲルの中に入れるとは思っていませんでしたので嬉しかったです。
- ◎ 11月23日 (男性)  
後輩と当てもなくぶらぶらと但馬に来ました。そして、モンゴル館にたどりつきました。見るもの全てが神秘的で、もっと早い時間に来たかったです。
- ◎ 11月23日 奈良県生駒市 (女性)  
いいお天気で気持ちのよい日です。モンゴル文化に触れ、モンゴルの生活を目の前で見せていただいたようでした。日本とも仲良くしてください。ありがとうございました。
- ◎ 11月25日 京都府舞鶴市 (男性)  
ゲルの中でこれを書いています。そもそも家とは“なんぞや”こんなことを考えてしまいました。
- ◎ 12月1日 兵庫県姫路市 (女性)  
主人と来ました。モンゴルという国はテレビとかで見ますが、今日ここで少し理解ができました。  
とてもきれいで、よい博物館ですね。心が和みます。
- ◎ 12月2日 兵庫県豊岡市 (女性)  
子どもが「スーホの白い馬」を今習っています。ずっと前から習い始めたら一度来ようと思っていました。ゲルの中は本格的で驚きました。
- ◎ 12月2日 兵庫県姫路市 (女性)  
自分で着たり、触ったりできるのがいいですね。モンゴルの衣装なんか着る機会なんてないのでとても楽しかったです。
- ◎ 12月3日 (女性)  
モンゴルの文化や生活の一部を見て何か懐かしいものを感じました。特にゲルの中はすごく落ち着きました。
- ◎ 12月3日 大阪府枚方市 (男性)  
なかなかアピールすることは難しいと思います。博物館維持も大変だろうと思いますが、頑張ってください。また、研究も深めて興味深い博物館にしてください。
- ◎ 12月4日 兵庫県篠山市 (女性)  
モンゴルの星・ボルハントイ・うらべはんふ、すっかり気に入って、何度も何度もゲルを出入りしている子どもたち……。やっぱり落ち着きますね。
- ◎ 12月4日 兵庫県姫路市 (女性)  
民話の語りは、せっかくあのような機械が備えてあるのに、お年寄りが方言で語るのがよいかと思います。というより、そのほうが値打ちがあると思うのです。
- ◎ 12月4日 兵庫県山崎町 (女性)  
初めてこちらに伺いました。来てよかったです。資料が沢山あって見ごたえがあります。展示説明もていねいで期待以上でした。ゲルの中で聞く音楽は大変気持ち良かったです。
- ◎ 12月7日 京都市 (女性)  
城崎から帰りに車の窓から看板を発見し、突然訪れることになりました。予想外におもしろくとても満足しています。みんなに教えてあげましょう。
- ◎ 12月7日 兵庫県豊岡市 (女性)  
「スーホの白い馬」を習っています。どんなものか見たくて来ました。勉強になりました。  
私も「スーホの白い馬」の学習で興味をもちやってきました。モンゴルに行ってみたい。

- ◎ 12月21日 (女性)  
 ゲルの中ってとても落ち着くんですね。前から、モンゴルの大草原に行ってみたいなと思っていましたが、住んでみたくなりました。こんなふうに穏やかに暮らしてみたいですね。現代人って忙しすぎる。今日はとてもものんびりできました。
- ◎ 12月27日 兵庫県八鹿町 (女性)  
 モンゴルの生活がよくわかりました。特に私にとってすごいものが沢山あって勉強になりました。どうしてもこんなに沢山集まったのか知りたいです。入ったときからびっくりしっぱなし、すごかった、また来ます。
- ◎ 1月4日 神奈川県横浜市 (男性)  
 民族衣装を自由に着て、手で触り、体験できるのが大変印象に残りました。
- ◎ 1月12日 大阪市 (男・女性)  
 大阪からわざわざ来たかいがありました。ゲルの中は、とても機能的でびっくりしました。モンゴルのことはあまり知りませんでしたが、今日ここにきていろいろ知ることができました。  
 ゲルはテレビでしかみたことがありませんでしたが、入ってみるととても広いのだと知りました。食器もかわいい、家具もとてもいい感じ。よかったです。
- ◎ 1月13日 兵庫県出石町 (女性)  
 展示品がとても充実していてすばらしい。館内の雰囲気落ち着いていて心が和みます。
- ◎ 1月15日 大阪府泉南市 (男性)  
 企画展……団最年少で帰国したものです。記憶は全くありませんが、涙……。
- ◎ 1月31日 大阪府岸和田市 (女性)  
 作業所の一泊旅行で寄せていただきました。聞こえない・見えないという二重の障害をもつ人が、直接手に取り触れたりして、実物を確認できる博物館が全国でも極めて少ない中、日本・モンゴル博物館のご好意で触れることができ大変うれしいです。バリアフリーが叫ばれているおり、このような対応をしてくださるところが少なく、今回のご好意は他の博物館の模範となればと感謝しています。
- ◎ 2月10日 京都府峰山町 (女性)  
 小学2年の子が「スーホの白い馬」というお話してモンゴルのことなど学習したようです。実際にみることもできると聞いて来てみました。民族衣装で写真を撮りちょっとモンゴル人気分。この部屋でテーブルに向かって考えると、一つの部屋で一日の生活ができること、ベッドやテーブル、調理器具もそろって実用的な部屋、家族が散ることのないあったかい家を感じました。
- ◎ 2月19日 兵庫県香住町 (女性)  
 衣装を試着できたのがとてもよかったです。上映されていたモンゴルの様子も興味深く、展示物も変わっており何度来てもよい感じでした。他の2名は初めてですが、思った以上によかったですと言っていました。
- ◎ 2月23日 兵庫県山手町 (男性)  
 今回は企画展を主に見せていただきました。モンゴル博物館がある限り高橋村のことは残していただきたいと思います。これから高橋村のお墓に詣りたいと思います。
- ◎ 2月28日 兵庫県但東町 (男性)  
 立派な企画展だと思います。今後とも努力してください。
- ◎ 3月3日 兵庫県日高町 (女性)  
 私も昭和21年10月、10歳のとき満州より引き揚げてきました。一度来館したいと思い来させて頂きました。講師の山下様のお話を聞かせていただき、私の苦労話や戦争の話をお孫たちに語り継いでいかなければならないと思います。
- ◎ 3月5日 奈良県大和郡山市 (女性)  
 いっぱいさわられてよかった。わかりやすく興味もてました。
- ◎ 3月10日 和歌山市 (男性)  
 城崎から出石、その足でこちらにやりました。おもしろい観光スポットだと思います。合併論議がどこも盛んですが、個性のあるところが最後に生き残るでしょうね。勉強になりました。
- ◎ 3月17日 大阪府池田市 (男性)  
 峰山への道中、通りがかって思わず入館しました。化石から遊牧民の生活・仏教そして但東町の歴史、とてもバラエティーに富んで楽しめました。遊牧民にとってゲルは欠かせないもの、ひとつ部屋で家族が生活を営むという点がとても興味深く感じました。
- ◎ 3月18日 (女性)  
 となりにゲルで泊まれるようなキャンプ場があれば、もっと身近に生活体験ができると思います。モンゴルの食事を提供するとか……。一度訪れてみたかったので楽しかったです。
- ◎ 3月31日 神戸市北区 (男性)  
 きてよかった。だが、ここまで来るのに迷って……。サインボードを目立つところに設置してください。

## 8. 施設概要

### (1) 本館建築概要

位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84㎡
建築面積	999.65㎡
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、国際理解学習室 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、事務室 33.3㎡、館長・応接室 28.0㎡、準備室 48.2㎡ 展示室「東アジアの歴史」 75.7㎡ 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡ 展示室「チベット仏教」 37.7㎡、企画展示室 74.4㎡ シルクロード(回廊)1 13.3㎡、シルクロード(回廊)2 13.3㎡ シルクロード(回廊)3 12.6㎡、シルクロード(回廊)4 12.6㎡
建物規模	平屋建て 東西41.8m 南北42.5m 地上高9.0m
仕上げ	〈外装〉復層吹付 〈内装〉床 : モルタル下地タイルカーペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼り

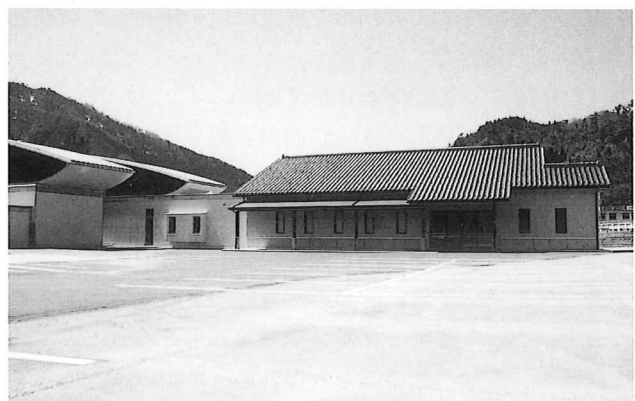
### (2) 伝承文化体験交流館建築概要

位置	兵庫県出石郡但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所

工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57㎡
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6㎡、展示室「但東の暮らしと文化」 112.5㎡ シルクロード(回廊)5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡
建物規模	平屋建て 東西 12.80m 南北 21.17m 地上高 7.05m
仕上げ	〈外装〉押出成形セメント板 〈内装〉床 : モルタル下地タイルカーペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉板張 天井 : 化粧PB張一部杉板張

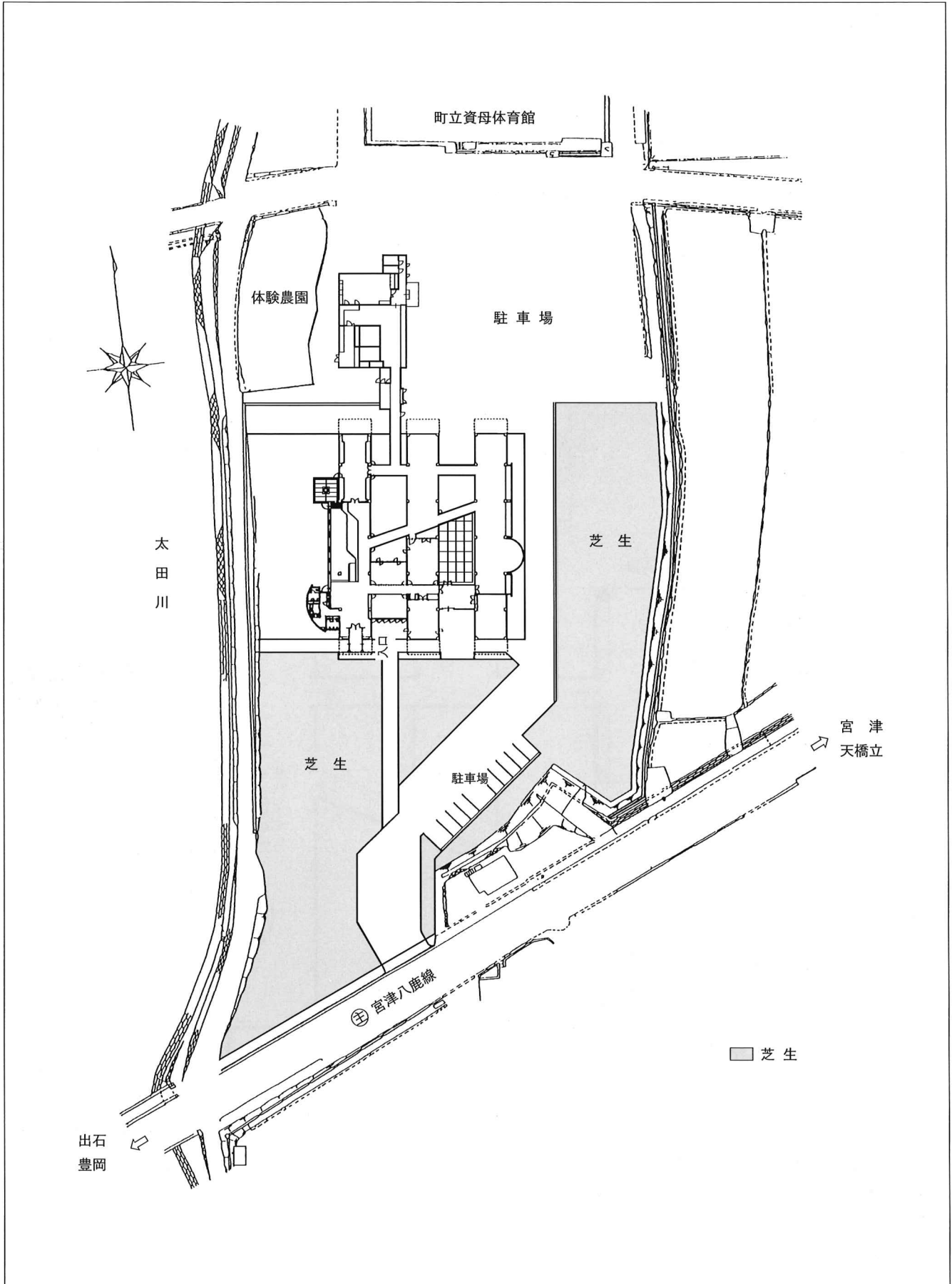


(本館外観)

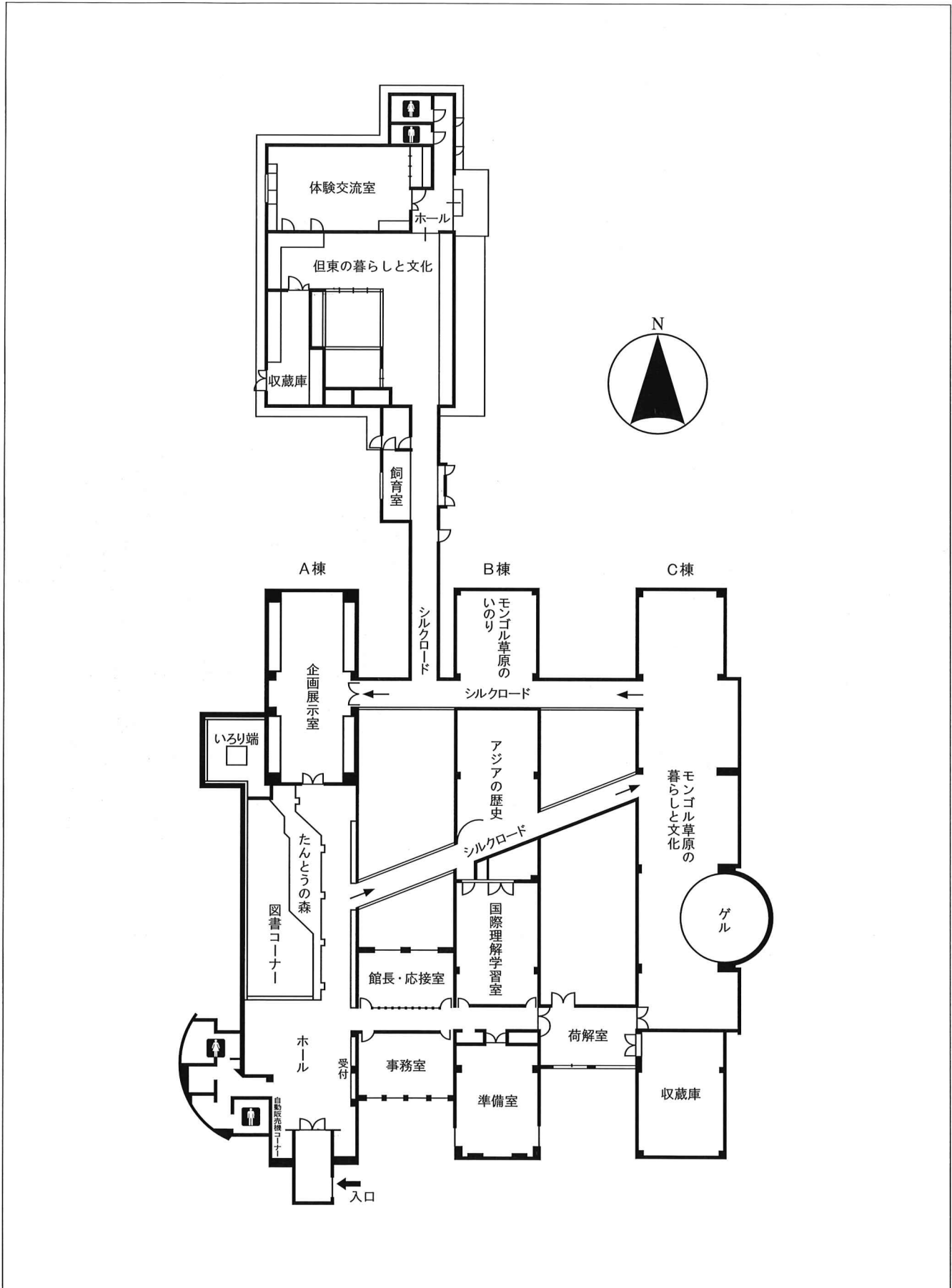


(伝承文化体験交流館外観)

(3) 配置図



(4) 平面図



## 9. 利用案内 (平成 13 年度)

開館時間 9時30分から17時まで(入館は16時30分まで)

休館日 水曜日(5月3日は開館)  
 年末年始(12月28日～1月4日)  
 展示替え及び燻蒸による臨時休館

観覧料 一般 500円(450円)  
 高校・大学生 300円(250円)  
 小学・中学生 200円(150円)

※カッコ内は20名以上の団体の場合

観覧料の減額○但馬ファンクラブ(一律100円の減額)

○J A F 協定(一律50円の減額)

○65歳以上のかたは観覧料の半額

○身体障害者(介助者を含む)のかたは観覧料の半額

○兵庫県内の小学・中学生はココロンカードの提示により無料

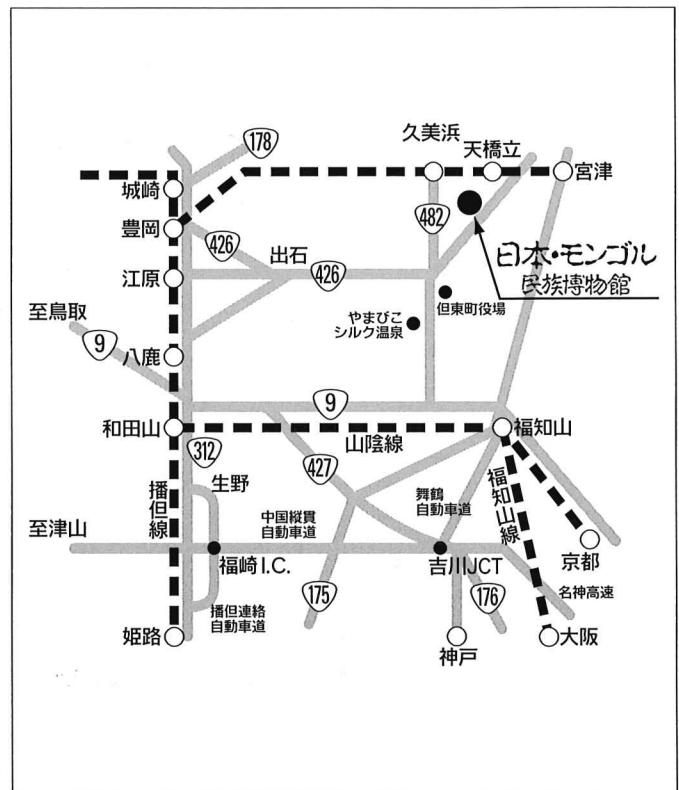
○兵庫県内の小学・中学生を引率する教員は無料

○但東町民はすべて無料

## 10. 交通案内



但東町位置図



アクセス・マップ

## あ と が き

■ 今年はなぜかすごく忙しかったような気がする。夏の博物館教室や出前授業、モンゴル出張、発掘作業……デスクワークの時間が非常に短かったような気がする。

出前授業や博物館教室でたくさん子どもたちと出会った。そのたびに子どもたちの感性の豊かさに驚かされる。私では考えもつかないような事を言ったり作ったりする。きっと頭がやわらかいんだろうなあ。私ももう少し頭をやわらかくしているんなことを考えるようにしよう。

久しぶりにモンゴルに行ってきました。4日間（実質2日間）という短い間でしたが、なつかしい人たちに会いました。初めて但東町が受け入れた留学生は20歳になっていました。他の留学生たちもみんな自分の夢に向かって走っていました。いつかこの子どもたちと一緒に仕事ができることを楽しみに今後も頑張っていきたいと思います。

（大岸勝也）

■ 「春眠暁を覚えず」という詩の一節に甘えているわけではありませんが、春先の体はなかなか動きにくいものです。ところが自然界では、春の足音を確実にとらまえ花を咲かせる準備や、産卵の準備にいそんでいる生き物たちを見習わなければならないのですが……。

こんな私が博物館に勤めさせていただいてからちょうど1年、こういう職場で働くのは嫌いではなく、むしろ夢であったかと思えます。かといって何一つ知識の持ち合わせはありません。5月の連休明けまでは入り込みも多く、バタバタ過ぎていきましたが、そうこうしているうちに何をすればいいのか、ウロウロ・ウロウロと随分と皆さんに迷惑をかけてしまいました。

8月も終わりの頃、次の企画展の担当は……と耳打ちされた時は、正直いって手伝うことはできるかもしれませんが、今自分の手にあう代物ではありません。ところが9月に入ってこの話は決定的となり、腹をくくらなあかんのかなあ……とと思っているとき、テーマは開拓団で……。かなり気遣いなテーマで「大丈夫か」と自問、辞退するのも面目ないし……。「みんなで応援するから」との言葉にいいよ腹をくくすることにしました。

準備期間は4カ月足らず、戦時下を知らない私には

帰還された開拓団員の皆さんの話を聞き、満州の事を調べ、日清・日露戦争までさかのぼって調べることも必要でした。小国日本は勝ち戦を続け、乗り込みにていましたが潮時を無視したつけが多く犠牲者を出しました。敗戦後の日本は、事実上アメリカの管理下の中で戦後復興をすることになります。戦後復興期は、官民同じ目線で国民生活の安定と向上を目指してきましたが、生活が豊かになるにつれて戦争は語りべになり、いま忘れられようとしています。この企画展では本当に多くの皆さんに支えられ、またとない勉強をさせていただきました。“戦いはどちらかが負ける”。言葉だけでなく、戦争は二度とあってはならないということ、語りべに託したいと思います。

（高木義彦）

■ 役場の機構改革に伴い、新しい職員5名でスタートした4月。あれから瞬く間に過ぎてしまったこの1年。今年は開館5周年を迎え、またひとつ節目となった年でもあった。

そのような中で、5周年イベントの開催・各種教室の充実、出前授業の依頼増で嬉しい悲鳴をあげたことなどが思い出される。

また、私的なことではあるが、新年度早々の怪我。こちらは、大変な迷惑を周りの方々におかけしてしまった。チューリップまつり・企画展の展示替えと続く中、忙しく動き回る皆の横で一人動けないでいる私。幸い達者な口は無事だったので、それまで以上によく動き閉口されていたかもしれないが……この場をおかりしてお詫びとお礼を申し上げます。

（渡辺律子）

■ 平成13年の春、私にとって思ってもいなかったことが起こりました。

それは、なんと「日本・モンゴル民族博物館勤務を命ずる。」という辞令が出たことでした。突然のことで、「博物館のことやモンゴルのこと、何も知らない、どうしよう。」など、不安に思うことばかりでした。

初めて博物館に来て1日の流れや、レジの打ち方・書類の整理などいろいろな仕事を教えていただきまし

た。少々くたびれた頭をフル稼働して、覚えなきやあと頑張りました。が、しかし、いささかオーバーヒート気味の頭には、新しいことを入れると少し前のことが消去されるといった毎日の繰り返しでした。なんとか掃除だけでもきちんしなければと思っても、高い所には手が届かず……といった具合でした。

博物館の受付に座っていると、お客様のいろんな質問に出会います。道を尋ねられたり、モンゴルのことを聞かれたり、そのたびに目で助けを求めて答えてもらったり、振り返ってみると館長や職員の皆さんに助けをいただくことばかりの1年でした。

いまでは、なんとかそれなりにこなせているのかなと思っています。(まだまだ他の職員の皆さんの足元にも及びませんが……) こんな迷惑ばかりかけている私ですが、お客様の「やあ、きれいなどこね」「すごくよかったわ」の一言を聞くと、なんとも言えない満足感が広がっていきます。これからも、来館いただいたお客様が「博物館ていいとこだな」と感じて帰っていただけるよう、あいさつと笑顔を大切にして仕事をしていきたいと考えております。

(柴田明子)



(博物館スタッフ)

**日本・モンゴル民族博物館年報第5号**

Japan Mongolia Folk Museum

〒668-0345 出石郡但東町中山 711

TEL (0796)56-1000

FAX (0796)56-1022

E-mail: monpaku@mxn.kansai.ne.jp

711Nakayama, Tanto-Town, Hyogo 668-0345 JAPAN

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 14 年 12 月 20 日発行

印刷／嶋屋印刷

〒668-0233 出石郡出石町田結庄 86

TEL (0796)52-3408 FAX (0796)52-6000